

NEW HORIZON

English Course



内容解説資料

英語でつながる、
心豊かな体験を、
みんなで

教科書特設サイトはこちら！

教科書の内容解説資料や年間指導計画例、QRコンテンツのご紹介および使い方資料、CAN-DOリストなどを掲載しています。



教科書特設サイト



ご質問はこちらへ

編集委員おすすめ！

3大QRコンテンツ

Key Sentences 解説動画

本文再生機能

デジタル用例辞典（本文検索機能）

【生徒自ら学ぶ】

【個別最適に学ぶ】を実現！



英語でつながる心豊かな体験を、みんなで

～「誰一人取り残さない英語教育」をめざして～

令和7年度版NEW HORIZONは、
日本で英語を学ぶ全ての生徒たちが、英語を通して他者とつながる「体験」を積み上げ、
積極的に世界とつながろうとする「心」を育むことを願って編集されました。

「自分のことをもっと伝えたい」

「相手のことをもっと知りたい」

「多様な世界をもっと見てみたい」など、

生徒の好奇心をかきたてる教材を取りそろえ、

「生徒が自ら学びたくなる教科書」への転換を図りました。

学びの主人公である生徒が**「もっと英語を使おうとする姿」**を
いっしょに実現していきましょう。

CONTENTS

- 先生方の声を受けて改訂しました! 4
- NEW HORIZON 3つのポイント 6
- POINT 1 (確かな英語力を育成する構成) 8
- POINT 2 (小中接続) 18
- POINT 3 (地球市民の育成) 22
- 生徒が学びたくなる工夫 26
- よりよい授業のために: その他の工夫 28
- デジタル教科書・教師用指導書のご案内 31

先生方の声を受けて改訂 しました!

特に多かった2つの声への対応をご紹介します。

本改訂にあたっては、多くの使用実態調査（Googleフォームおよび学校訪問など）を行いました。リアルなお声を寄せてくださった全国の全ての先生方に、心よりお礼申し上げます。編集委員会は、全てのご意見やご示唆について検討を重ね、新しいNEW HORIZONを編集しました。

先生方からの声

英語に苦手意識を持つ生徒や英語嫌いの生徒をなくしたいです。

対応例 1 生徒が「英語って楽しい!」「わかった!」という成功体験を積み重ねられるようにしました。

対応例 2 生徒が自分に合った方法で学習できるように、QRコンテンツを充実させました。

くり返し見たいくなるアニメ教材

多様で個性豊かなキャラクターが登場するアニメで楽しく学び、英語へのモチベーションを高めます。



▲1年 pp.58-59 など

カナダの生徒との国際交流体験

さまざまなバックグラウンドの生徒が登場。相手意識を持って、伝え合う楽しさを体験できます。



▲1年 pp.54-55 など

語順の学習はゲーム感覚で

語順カードでくり返し練習して定着を確実に。紙とデジタル(QRコンテンツ)両方で学習が可能です。



▲1年 p.10、巻末付録

単語と文法はクイズで定着

取り組みやすいクイズ形式の練習問題。QRコードからアクセスできます。



▲デジタルクイズ(単語・文法)

先生方からの声

内容が多くて指導時数が足りません。特に単語の指導が大変です。

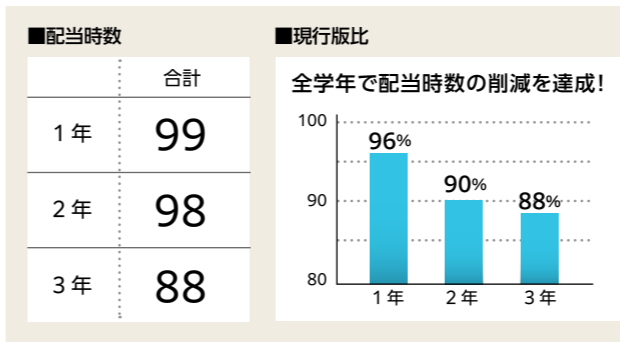
対応例 1 学習内容を整理・厳選し、配当時数を削減しました。

対応例 2 小学校の単語は、「音と文字」のルールと共に復習します。

対応例 3 800語を「発信まで使えるようになりたい語」に設定。くり返し提示して定着を促します。

配当時数は、全学年100時間以内に削減

余剰時間で先生方それぞれの自由な指導や個別最適な学びを可能にします。



小学校の単語で「音と文字」のルールを学習

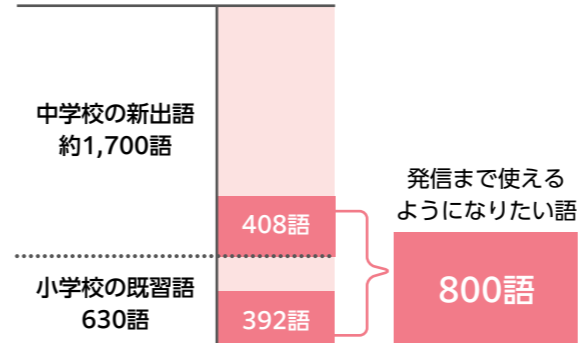
小学校の単語の定着度のバラつきもしっかりフォローできます。



▲1年 p.18 など

「発信まで使えるようになりたい語」を800語に厳選

メリハリをつけた語彙学習を実現します。



生徒がもっと英語を使う姿を



あ の こういち
阿野 幸一

NEW HORIZON
English Course編集代表
文教大学教授

「生徒たちの内面的な成長を支援したい」「英語を通して視野を広げ、コミュニケーション力を高めてもらいたい」このような思いを持って先生方は日々の英語の授業をされていることでしょう。令和7年度版NEW HORIZONは、生徒の心を動かす題材を豊富に用意し、気持ちを伝え合う多くの言語活動を通して、生徒たちの英語学習に伴走し、熱い思いをお持ちの先生方の英語指導を強かにサポートします。

「英語って楽しい!」と思える生徒を



た ま い み つ え
アレン玉井 光江

NEW HORIZON
English Course編集代表
青山学院大学教授

よりよい小中接続を考え、学習内容を整理し生徒の負担を軽減する改訂を行いました。また中学校に入り、単語の読み書きに不安を感じている生徒が多いことから、Sounds and Lettersで、音と文字との関係を学びながら体系的に読み書きの指導を行えるようにしました。小学校の内容をていねいに確認・復習しながら、生徒が前向きに英語学習をスタートできるようにしています。「英語って楽しい!」と思える生徒を増やしていきたいでしょう。

単元のまとまりを見通して、「重ね塗り」の指導を



や ま だ さ と し
山田 誠志

NEW HORIZON
English Course編集委員
至学館大学教授

単元末活動 (Unit Activity) を、学んだことを発揮する「学びのゴール」と位置づけ、単元内の諸活動を単元末活動につなげました。新しいNEW HORIZONは、単元のまとまりを重視した指導にぴったりの構成になっています。生徒は、単元末活動に関連づけられた言語活動等に、スモールステップでくり返し取り組むことができます。重ね塗りのように、「英語力」が少しずつ確かなものになると思います。

先生方の「声」を大切にした NEW HORIZON 3つのポイント

POINT

1

スモールステップで 確かな英語力を育成します!

単元末活動(ゴール)に向かって言語活動を積み上げて、確かな英語力を育む教科書です。

① 学年のテーマを明確にして、
生徒の段階的な成長を実現



p.8

② スモールステップで
ゴールにつなぐUnit構成



p.10

③ 単元のまとまりを重視した
Unitの学習の流れ



p.12

POINT

2

小中接続期の 「困った」を の 解決します!

生徒が英語を学ぶ楽しさや達成
学習を進められる工夫が満載の

感を味わいながら、
教科書です。

① 小学校英語の
基礎の定着を
ていねいにフォロー



p.18

② 生徒自ら復習したくなる
「夏休み特集」



p.19

③ 中学校の学びに
円滑につながるUnit構成



p.20

POINT

3

未来を担う地球市民を 育成します!

生徒の積極的に世界とつながろうとする「心」を育む教材を
豊富に掲載している教科書です。

① カナダの生徒との国際交流で
伝え合うよろこびを体験



p.22

② 多様な文化や価値観への
気づきを促す「ダイバーシティメモ」



p.23

③ SDGsを自分事として考える題材を
豊富に掲載



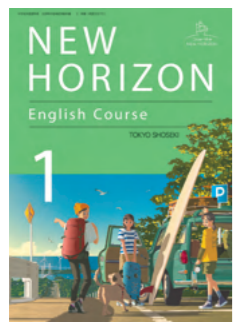
p.24

スモールステップで確かな英語力を育成 します！

① 学年のテーマを明確にして、生徒の段階的な成長を実現

学年のテーマを設定し、英語の学習を通してめざす「生徒の姿」を具体化しました。生徒にとっては、学習の目標やめざす姿が明確になり、見通しを持って授業に取り組むことができます。

1年 中学校英語の世界へようこそ！



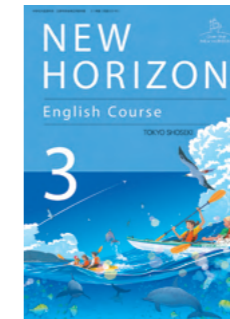
小学校と中学校の学びを円滑に接続するために、デジタルコンテンツを活用しながら生徒がより主体的に学べるように、紙面を構成しています。身近な話題で英語を使ってコミュニケーションする体験を積み上げることで、英語を学ぶ楽しさを感じることができます。

2年 もっと英語で伝え合おう！



日本全国りたくな相手意識ことまで英語を使用異なる考はよりーの名物、名所など、中学生が語る話題を多く取り上げています。を持って身近なことから世界の発信します。って伝え合うことで、自分とはえや価値観に触れ、生徒の「心」層成長します。

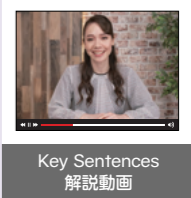
3年 英語を使って共に生きよう！



中学生に関心の高い話題を切り口に、「地球市民」としてどう生きたいかを問いかけます。クラスメートやALT、英語の先生と共に考えたり、話し合ったりする協働の時間で、他者の多様な生き方や考え方に触れることにより、中学3年生としての成長を促します。

「学びののりしろ」をしっかり確保

1年生は夏休みまでを使って小学校の復習を、2-3年生はUnit 0で、前学年までの復習ができます。QRコードからは、全学年のKey Sentences 解説動画を視聴できるので、文法事項の復習もバッチリです！



CAN-DOリストに 基づいた学習内容

目標

Stage	Unit	Stage Activity	学習の見通しを立てよう
1	0	My Spring Vacation	クラスメートと春休みにしたことを伝え合うことができる。
	1	What can we experience on a trip?	留学生に休日のプランを提案することができる。
	2	What is local food?	イタオオのご当地グルメを紹介することができる。
2	3	What kind of job are you interested in?	110番者の自分へのメッセージを書き送ることができる。
	4	My Favorite Japanese Food	自分や日本人好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。
	5	What is important in a homestay?	日本の習慣やマナーを伝えることができる。
3	6	What design is good for everyone?	自分や日本人好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。
	7	How can we make a good presentation?	アンケート調査の結果を発表することができる。
	8	My School and School Life	自分の学校や学校生活について、興味を持って話し合えることができる。
3	9	What are World Heritage sites and their problems?	日本の世界遺産の特徴や海外の人に紹介することができる。
	10	Let's Have a Discussion	自分の意見を明確にして、意見を述べることができる。

▲2年巻頭 pp.2-3

目標と 評価の一致

評価

学習を振り返ろう - CAN-DO リスト -	聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと
1 学年年末
2 学年年末
3 学年年末

▲巻末CAN-DOリスト

自分のことを知ってもらうために、経験や予定、将来の夢などについて、電子メールや手紙などの形で意見や理由などを加えて書くことができます。

スモールステップで確かな英語力を育成 します！

#単元のまとめり #バックワードデザイン

② スモールステップでゴールにつなぐUnit構成

単元末活動からのバックワードデザイン（逆向きの設計）で言語活動を設定しています。扉ページにゴールの活動を明示しているので、生徒は目的意識を持って言語活動に取り組むことができます。

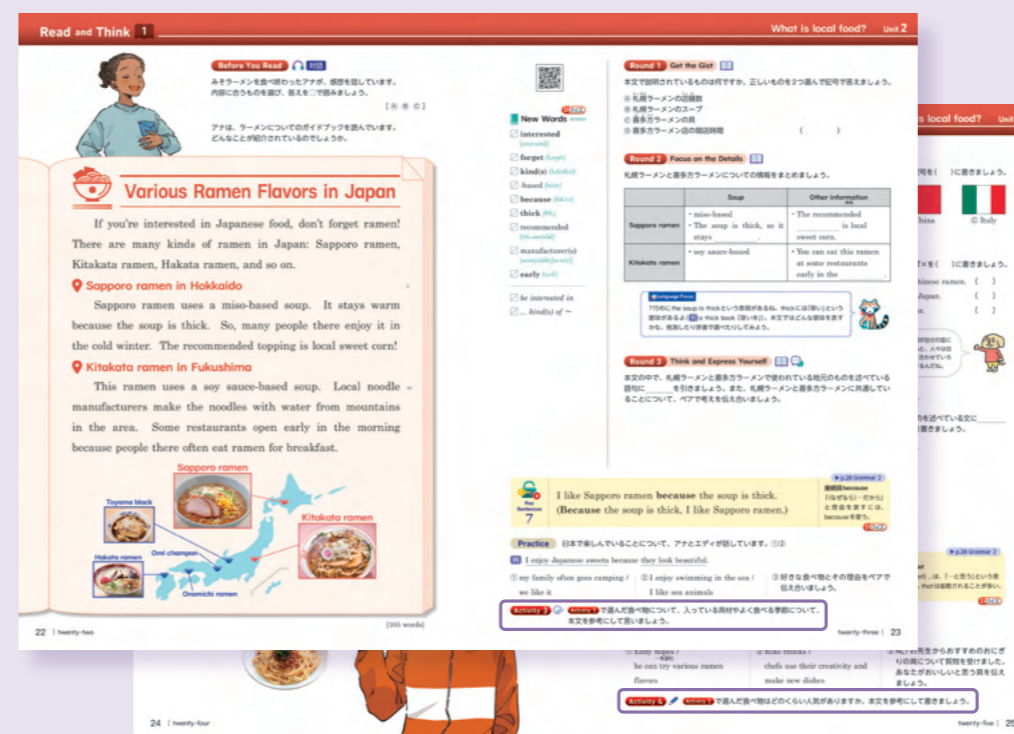
Unitの構成と配当時間（8時間扱い）

構成	扉・Part 1	Part 2	Read and Think 1	Read and Think 2	Unit Activity
時数	1	2	3・4	5・6	7・8

※ラウンドリーディングの詳細は本誌pp.14-15



▲2年 Unit 2 (pp.19-26)



ここがポイント！ 単元末活動への積み上げ

各パートのActivityをスモールステップで積み上げてUnit Activityへつなぎます。Activityは全て、本文を活用して行う言語活動。単元末活動に向けて一貫した指導を行うことができますよ。



- Activity 1** あなたが特に好きな食べ物は何ですか。本文を参考にして言いましょう。
- Activity 2** Activity 1 で選んだ食べ物は、どんな食べ方ができますか。本文を参考にしてペアで伝え合いましょう。
- Activity 3** Activity 1 で選んだ食べ物について、入っている具材やよく食べる季節について、本文を参考にして言いましょう。
- Activity 4** Activity 1 で選んだ食べ物はどのくらい人気がありますか。本文を参考にして書きましょう。



生徒は、各パートのActivityで表現したことをいかして、「目的・場面・状況」をふまえた発信活動を行います。スモールステップを積み重ねているので、全ての生徒がゴールの活動に取り組めます。

スモールステップで確かな英語力を育成 します!

扉 → Part 1・2 → Read and Think 1・2 → Unit Activity

#単元を貫く問い #文法学習

③-1 単元のまとまりを重視したUnitの学習の流れ

扉

「単元を貫く問い」による導入／Previewで文法への気づきを促す

まず始めに生徒は、「単元を貫く問い」であるUnit Questionと出会います。次に単元のゴールの活動を確認し、見通しを持って学習をスタートします。

Unit Question

「単元を貫く問い」をUnitのタイトルに設定。生徒はUnit Questionについての考えを深めて、Unitの最後に自分の考えを書いてまとめます。

GOAL

ゴールの活動を明示。生徒は見通しを持って、学習を進めます。



▲2年 p.19

Preview 目的・場面・状況

これから学習する文法事項を含んだ本文につながるストーリー。アニメを見ながら、文法を使う「目的・場面・状況」を理解することで、文法を形として覚えるだけでなく、必要に応じて使える力が身につきます。

QRコンテンツ



詳細は、パンフレット「QR・デジタルコンテンツのご紹介」をご覧ください。

?

概要把握の「問い」。本文を読む前に確認することで、生徒は目的意識を持って読解に進みます。

Key Sentences (基本文)は、原則本文から。本文の流れを分断せずに文法学習が可能。

Part 1・Part 2

本文の概要を把握

Unitの前半のPart 1・Part 2の本文は、形式のある短めのものを取り上げています。生徒は、「目的・場面・状況」を意識しながら音読や文法事項を用いた自己表現に取り組みます。



▲2年 pp.20-21

Activityの表現例

生徒は、本文1文めの I like ramen, especially tonkotsu ramen. を活用して、 I like curry, especially chicken curry. などと表現します。

Practice ①②は、本文内容とつながった練習問題。Practice ③は、学んだ文法を活用して行う言語活動。

スモールステップで確かな英語力を育成 します！

扉 → Part 1・2 → **Read and Think 1・2** → Unit Activity

#ラウンドリーディング #思考力・判断力・表現力

③-2 単元のまとまりを重視したUnitの学習の流れ

Read and Think 1・Read and Think 2

ラウンドリーディングで読解力育成

Unitの後半のRead and Think 1・Read and Think 2では、「読む」ことを重点的に扱います。生徒は、概要から詳細の順に捉える文章の読み方を身につけるとともに、自分の考えを表現します。

ラウンドリーディングとは

ラウンドリーディングとは、Round1~3の設問に沿って、**3回視点を変えて読解のポイントを絞って英文を読む活動**のことです。これにより、英文を適切にかつ効率的に読む力が身につきます。最近の高校入試や全国学力調査の出題傾向にも対応できる「読解力」の育成にぴったりです！



あ の こう いち
阿野 幸一 先生

Read and Think 1 What is local food? Unit 2

Before You Read 対話
みそラーメンを食べ終わったアナが、感想を話しています。内容に合うものを選び、答えを○で囲みましょう。 (A B C)
アナは、ラーメンについてのガイドブックを読んでいます。どんなことが紹介されているのでしょうか。

Round 1 Get the Gist
本文で説明されているものは何ですか。正しいものを2つ選んで記号で答えましょう。
A 札幌ラーメンの店舗数
B 札幌ラーメンのスープ
C 喜多方ラーメンの具
D 喜多方ラーメン店の開店時間 ()

Round 2 Focus on the Details
札幌ラーメンと喜多方ラーメンについての情報をまとめましょう。

	Soup	Other information
Sapporo ramen	• miso-based • The soup is thick, so it stays _____.	• The recommended _____ is local sweet corn.
Kitakata ramen	• soy sauce-based	• You can eat this ramen at some restaurants early in the _____.

Round 3 Think and Express Yourself
本文の中で、札幌ラーメンと喜多方ラーメンで使われている地元のものを述べている語句に _____ を引きましょう。また、札幌ラーメンと喜多方ラーメンに共通していることについて、ペアで考えを伝え合しましょう。

Language Focus
7行めに the soup is thick という表現があるね。thick には「厚い」という意味があるよ (A) or thick book 「厚い本」。本文ではどんな意味を表すかな。見出しの辞書で調べたりしてみよう。

Key Sentences 7
I like Sapporo ramen because the soup is thick. (Because the soup is thick, I like Sapporo ramen.)

Practice 日本で楽しんでいることについて、アナとエディが話しています。①②
I enjoy Japanese sweets because they look beautiful.
① my family often goes camping / we like it
② I enjoy swimming in the sea / I like sea animals
③好きな食べ物とその理由をペアで伝え合しましょう。

Activity 3 Activity 1 で選んだ食べ物について、入っている具材やよく食べる季節について、本文を参考にして言いましょう。

ラウンドリーディングの流れ

- 2年 Unit 2 Read and Think 1の例**
- Round 1 概要・大意をつかむ**
本文で説明されているものを2つ選びます。
ほかの設問例：見出しつけ、図版を選ぶ など
- Round 2 詳細をおさえる**
本文の内容を図で整理します。
2年の最初は空所補充形式で取り組みやすい！
ほかの設問例：TF、英問英答 など
- Round 3 思考して表現する**
本文をふまえて、ペアで意見交換をします。
「思考力・判断力・表現力」の育成に対応！
ほかの設問例：リテリング、要約 など

Language Focus

語彙にフォーカスしたコーナーを新設。既知の知識を活用して、単語の意味を類推したり、辞書を使って意味や活用例を調べたりします。生徒の「言葉」への気づきや興味関心を高めます。

Before You Read 対話

本文へつながるリスニング。レポートや対話、指示、アナウンスなど、さまざまなタイプを扱っています。リスニングのあと、生徒は目的意識を持って、本文の読解に進みます。

多様な文章タイプを掲載

Read and Thinkでは、定番のスピーチ、伝記、説明文、物語に加えて非連続型テキストなどを掲載。文章のタイプによって設問を変えながら、ラウンドリーディングで読解力を着実に育てます。

分量増への対応

全国学力調査では200語程度、高校入試では300～700語程度の長文読解問題が出題されています。Read and ThinkやLet's Readでは、段階的に分量を増やし、長文への対応力を養います。

	Read and Think	Let's Read
1年	60～80語程度	200語程度
2年	80～120語程度	300～400語程度
3年	100～300語程度	400～500語程度

▲2年 pp.22-23

スモールステップで確かな英語力を育成 します！

扉 → Part 1・2 → Read and Think 1・2 → **Unit Activity**

#単元末活動 #ICT活用

③-3 単元のまとまりを重視したUnitの学習の流れ

Unit Activity

「目的・場面・状況」を意識して行うゴールの活動

各パートのActivityで表現したことをいかして、Unit Activityに取り組みます。

巻末の補充資料「Unit Activity Plus」のほか、用例辞典や思考ツールなどのQRコンテンツも充実しています。

生徒が自分事として取り組めるように、「目的・場面・状況」を明確に設定。

クラスメートと考えや表現を共有し、「再構築」する機会を設けています。

Unit Activity Unit 2

イチオシのご当地グルメを紹介しよう

ALTの先生がイチオシのご当地グルメを知っています。地元で食べられている料理を選んで、紹介する記事を書きましょう。

STEP 1 イチオシのご当地グルメの情報をまとめよう

紹介するご当地グルメを選んで、情報やイチオシの理由をまとめよう。

紹介する食べ物	Hakata ramen
情報	pork bone-based soup, rich taste 豚骨ベースにした 濃厚な味
イチオシの理由	You can choose the firmness of your noodles. 太さを選べます

STEP 2 イチオシのご当地グルメを紹介しよう

ペアになり、STEP 1 でまとめた内容をもとに、選んだ食べ物を紹介し合います。相手の紹介を聞いて、よいと思った表現は、自分の記事に取り入れましょう。

STEP 3 イチオシのご当地グルメを紹介する記事を書こう

ご当地グルメを紹介する記事の原稿を書き、グループになって発表しましょう。

Hakata Ramen in Fukuoka

I especially like Hakata ramen because the creamy tonkotsu soup has a rich taste. It is very popular. It uses a pork bone-based soup. The recommended toppings are chashu and ginger.

You can choose the firmness of your noodles. And you can get extra noodles if you want. I think you'll like it!

by Takashi

2 ここまでの学習をふまえて、Unit Questionについて、自分の考えを書きましょう。(30 words)

What is local food?

CHECK

イチオシのご当地グルメを紹介することができました。

▲2年 p.26

「単元を貫く問い」について、考えを書いてまとめる

Unit Question

What is local food?

Writing Tips 2

具体例を加えよう・1

地元の食べ物に関する情報を具体例(どんな材料が使われているかなど)と共に伝えよう。for example 「例えば」などの表現が使えます。

巻末の補充資料「Unit Activity Plus 2」(p.136)内に、Unit Questionについての考えを書くスペースを用意。Unitの学習を通じた思考の深まりを実感できます。全Unit分、記入スペースがあるので、学びのポートフォリオとしても有効です。

▼2年 p.136

Unit Activity Plus 2

イチオシのご当地グルメを紹介しよう

QRコード

What is local food?

巻末に表現のアイデアや例を示した補充資料があります。

生徒の表現活動をサポート！ QRコンテンツ

用例辞典

NEW HORIZON 用例辞典

入力してください

検索する X

Some restaurants open early in the morning because people there often eat ramen for breakfast. その人たちはよく朝食にラーメンを食べるので、朝早く開店する店もあります。

So, many people there enjoy it in the cold winter. そのため、そこではたくさんの方が寒い冬に食べます。

The recommended topping is local sweet corn! おすすめのトッピングは地元のスイートコーンです！

発信活動に使える表現を教科書の3学年分の本文から検索できます。本文を活用して、「自分なりに表現してみる」ことを促します。検索は、「言語の動き」(説明する、例示するなど)と「日本語」(スポーツ、食べ物など)で行えます。

思考ツール

発信活動のベースとなるアイデアを書き出して整理するのに有効です。ドライブなどでクラスメートと共有することもできます。

Activity Sheet

Unit Activity (ゴールの活動)の最終成果物を記入するシートです。ドライブなどでクラスメートと共有したり、教師に提出したりすることもできます。

デジタルマップ

Nagano

Oyaki is one of the most famous local foods of Nagano prefecture. It is like a bun. It is stuffed with wakuban paste or vegetables produced in Nagano, such as Hizakoma and eggplants. Oyaki's history is very long. In the Jomon period, food like Oyaki was already eaten. Jomon ware which was used to make oyaki was found in Ogawa Village, Nagano. Oyaki baked on the Japanese-style fireplace called 'iroi' is very popular among the tourists.

True False

True False

Check

表現で使うアイデアを見つけたり、日本と世界の名所、名物、文化などについての「ご当地リーディング」を読んだりすることができます。

小中接続期の「困った」を解決します！

#小中接続 #中1ギャップ

① 小学校英語の基礎の定着をていねいにフォロー

「小学校で習ったからできるはず」という先入観をなくし、基礎をていねいに学習できる構成にしました。英語が得意な生徒も、得意ではない生徒も、誰一人取り残されることなく、中学校の学習に取り組みます。

基礎をよりていねいに学ぶために 夏休みまでのUnitを1つ削減

- ・小中接続期(1年の夏休みまで)に扱う文法事項を整理することで、Unitを5つから4つに減らしました。生徒は、余裕を持って学習に取り組みます。
- ・want toや動名詞は、1年前半においては表現扱いにとどめ、文法配列は系統性を持ったものに変更しました。
- ・be動詞と一般動詞については、「それぞれ重点的に指導したい」という「声」を受け、1つずつ、文法のターゲットとして取り上げました。

1年 Unit 1

pp.28-29 Grammar 1

1 I am Edward Trout.
2 I like Japanese sweets.

pp.28-29 Grammar 1

3 Do you like rugby?
—Yes, I do. [No, I do not.]
4 I do not play rugby.

pp.28-29 Grammar 1

5 Are you an anime fan?
—Yes, I am. [No, I am not.]
6 I am not an anime fan.

Part 1では、小学校英語を受け、**be動詞と一般動詞をいっしょに導入**

Part 2では、**一般動詞に焦点化**。疑問文と否定文をていねいに学習

Part 3では、**be動詞に焦点化**。疑問文と否定文をていねいに学習

小学校の単語の学習負担への配慮 Sounds and Letters でしっかり復習

- ・小学校で学習してきた単語(600~700語)の定着度がまちまちで、指導に悩んでいるという先生方からの「声」を受け、UnitとUnitの間に、**小学校の単語を用いて「音と文字」の関係学ぶSounds and Letters**を設けました。
- ・「音と文字」のルールを確実に積み上げることで、生徒は**自力で読み書き**ができるようになります。
- ・Sounds and Lettersで学習した単語は、それ以降のUnitの本文にくり返し提示して定着を促します。

「音と文字」のルールを覚えていくことは、英語を「読む」力にも「書く」力にも有効です。小学校で聞いたことのある単語を使って、ルールを確認するので、負担も少なく学習できます。



アレン玉井 光江先生

Sounds and Letters 1

アルファベットが表す音を確認しよう-1

魚類を調べる

アルファベットが表す音を確認しよう-2

動物を調べる

▲1年 p.18

② 生徒自ら復習したくなる「夏休み特集」

1年の夏休みなどを使って学習の足並みをそろえるために、「夏休み特集」を設けました。楽しみながらアニメを見て既習事項を復習でき、自己調整力も養います。

夏の思い出を伝え合おう

理子たちの夏を見よう

1 遅れてきたのは誰かな?

2 エディがたい焼きの次に食べたいものは?

3 花火が始まった時刻は?

4 花火が始まった時刻は?

▲1年 p.57

▲1年 pp.58-59

スクリプトには、小学校英語を含む夏休みまでの既習事項が満載！わくわくするストーリーで、楽しく復習ができます。

Anna: I **had** a really good time today.

Eddy: **Me, too!**

Riko: Oh, **what time is it now?**

Anna: **It's almost 8 o'clock.**

Riko: **We can see the fireworks soon. Look!**

Anna: **They're beautiful.**

*赤字は既習表現

夏休みの思い出を絵日記に書く課題。

巻末とQRコンテンツに、記入カードを用意。

夏休みの宿題や夏休み明けの授業の言語活動などに活用できます。

夏の思い出を伝え合おう

夏休みの絵日記を書いて思い出を伝え合おう

絵日記

Day: Tuesday
Date: July 22nd
Weather: rainy

I went to my grandparents' house. I ate watermelon. I enjoyed fireworks. I had a great time.

アニメの日記

Day: Saturday
Date: July 26th
Weather: sunny

I went to the mountains with my family. We enjoyed camping. We had curry and rice. It was delicious.

▲1年 p.60

小中接続期の「困った」を解決します！

#重ね塗り #音から文字へ

③ 中学校の学びに円滑につながるUnit構成

小学校で学んだ表現を使って「聞く」「話す」活動から授業に入ることで、小学校の学びを中学校につなぎます。同じ表現に、「聞く」▶「話す」▶「読む」▶「書く」活動で漆塗りのように何度も触れることで、定着を促します。

扉

リスニングでストーリーをイメージ

生徒は、Unit全体のダイジェスト音声を「聞く」ことから始めます。紙面にある質問の答えをさがしながらストーリーをイメージします。



Unitのゴールは「できるようになること」を明示。



Unitのストーリーのダイジェスト版音声。QRコードからアニメが視聴できます。生徒は、これから「読む」本文の内容をイメージします。

Unit 1 Hello, Everyone!

自分のことを伝えたり、相手のことをたずねたりすることができる。

Enjoy Listening ストーリーを聞く
4月、いよいよ中学校での授業が始まります。最初の英語の授業で、1人ずつ教室の前で自己紹介をしています。ストーリーを聞いて、登場人物についてわかったことをペアで伝え合います。

Ueda Riko 上由 理子
Ito Jun 伊藤 純
Anna Morris アナ・モーリス
Edward (Eddy) Trout エドワード(エディ)・トラウト

▲1年 p.11



小学校で慣れ親しんだ表現を使った「話す」活動を通して、教師は生徒のレディネステックを行うことができます。Enjoy Communicationで話した表現を中心に本文が展開されるため、無理なく「音」から「文字」への学習が進みます。

Part 1・Part 2・Part 3

小学校の表現を用いた「話す」活動／本文の概要を把握／自己表現

まず始めに生徒は、小学校で慣れ親しんだ表現を使って「話す」活動を行います。次に、それらの表現を含む本文を聞いたり読んだりします。

Part 1 自分の名前や好きなものを伝えよう Hello, Everyone! Unit 1

Enjoy Communication
私たちは3年間をいっしょに過ごします。英語の授業を通しておたがいの新たな面を発見しましょう。

Story
エディが教室の前で自己紹介をしています。エディは何部に入りたいと思っていますか。

I like Japanese sweets.
I love daifuku and ammitsu.
I love matcha, too.
I want to join the sado club!

1 I am Edward Trout.
2 I like Japanese sweets.

Your Turn
① Enjoy Communicationや本文をふり返り、自分の名前と好きなものについて言います。
② ①で話した文を書きましょう。

New Words
call
South Africa
love
everyone
me
from
Japanese
sweet(s)
and
too
join
the
club
Call me ...
want to
number(s)
本誌(別冊)参照
本人と本人や自分以上のものを、多くの中から、名詞にまたはesをつけます。

▲1年 pp.12-13

「漆塗り」の設計で、小中接続期でつまづかせない！

重ね塗りを経てできあがる「漆塗り」のように、小学校の表現や単語に、「聞く」▶「話す」▶「読む」▶「書く」活動を通して、何度も触れることで、理解を深め、定着を促すようにしました。例えば、Unit 1 Part 1では、Key SentencesでもあるI like ... を、①扉のEnjoy Listening (「聞く」)、②Enjoy Communication (「話す」)、③本文(「聞く」「読む」)、④Your Turn (「書く」)で、4回学習する機会を設けています。



Your Turn

各パートのまとめとして、自己表現を行います。「書く」力を徐々につけていくために、4線を用意し、文の初めをなぞり書きの形にしています。なぞり書きに用いている「文字」は、手書き文字に近いユニバーサルデザイン書体(→本誌p.30)を使用しています。

New Wordsと「小学校の単語」を、1か所にまとめて提示。新出単語は多くなり過ぎないように調整しています。

① カナダの生徒との国際交流で伝え合うよろこびを体験

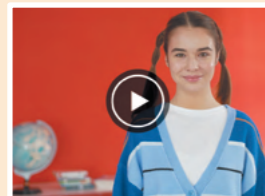
Stage Activityでは、Unitで学習してきたことを統合した集大成の言語活動を行います。生徒は、カナダからのビデオレターの内容をふまえて、相手意識を持って、発信活動を行います。

② 多様な文化や価値観への気づきを促す「ダイバーシティメモ」

世界の多様な実態について伝えるコラムを設けました。生徒の異文化への好奇心や多様性への理解を深めます。

目的・場面・状況

ビデオレターを見て、「目的・場面・状況」を確認します。相手意識を持ったコミュニケーション活動を促します。



Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food

GOAL 自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。

目的・場面・状況 国際交流の授業で、カナダのバンクーバーの生徒から、ビデオレターが届きました。相手を知りたい情報を確認しましょう。

Thinking 紹介する日本食についての情報をまとめよう

紹介する日本食を1つ選んで、**メモ**を参考にして項目ごとに伝える情報をまとめよう。

選んだ料理 *okonomiyaki*

特徴

- パンケーキやピザのようなもの
- 小麦粉やキャベツ、卵、水などを混ぜて焼く

好きな理由

- ソースがおいしい
- カリカリの豚肉がおいしい

相手の立場に立った情報

- さまざまな具材を加えることができ、おもしろい
- チーズやもちを加えることもできる

Speaking いちばん好きな日本食を紹介しよう

1. **メモ**でまとめた情報を、話すためのメモにまとめよう。

2. グループになり、好きな日本食を発表し合おう。

導入

I'm going to talk about my favorite Japanese food, *okonomiyaki*. It looks like a pancake or pizza. It's popular with people of all ages. You can make it easily.

内容・その日本食の特徴・好きな理由など

We usually make *okonomiyaki* with flour, cabbage, eggs, and water. It's fun to add many different ingredients to it. For example, you can add meat, seafood, vegetables, cheese, or rice cakes. Pork *okonomiyaki* is my favorite. I love it because its sauce and crispy pork are tasty.

まとめ(結び)

For these reasons, *okonomiyaki* is very popular in Japan.

CHECK 自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができましたか。

Stage 1 (pp.6-47) これまでの学習をふり返ろう ▶巻末口絵CAN-DOリスト

Stage 1は、p.47までです。p.47までの学習を終えたら、巻末にあるCAN-DOリストで学習をふり返りましょう。

アイデアを観点ごとに、マッピングで整理します。

巻末のCAN-DOリストを使って、自己評価します。

ダイバーシティメモ

南アフリカ共和国

南アフリカ共和国はアフリカ大陸の南端に位置しています。さまざまな人種の人が暮らす多民族国家です。

▲1年 p.12

ダイバーシティメモ

カナダには、アジア系カナダ人が数多く暮らしています。中国系、インド系、フィリピン系など、ルーツはさまざまです。

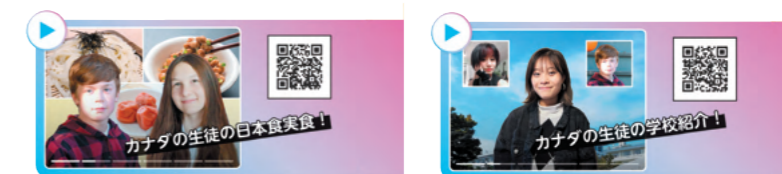
▲1年 p.22

ダイバーシティメモ

日本のマンガやアニメは海外でも人気があります。さむらいや忍者は映画やゲームなどにも登場するため、日本が好きな外国人によく知られています。

▲1年 p.32

Vancouver Diversity Channel~カナダ・バンクーバーの生徒のリアルな姿~



ダイバーシティの国・カナダ

新しい教科書のコンセプトの1つがダイバーシティです。カナダは「移民の国」「ダイバーシティの国」と称されますが、実際に暮らしてみても本当にそう感じます。人々は多様性を尊重し、人とちがうことを恥じることなく堂々としています。

Vancouver Diversity Channelでは、カナダの生徒の学校生活や趣味、ボランティア活動の様子など、リアルな姿を動画でお届けします。

バンクーバー在住・編集委員
加藤 真理先生



Stage Activityの内容一覧

1年

- 自己紹介のポスター作り
- 好きな有名人についてのやり取り
- 思い出の出来事の発表

配当時数 各2時間

2年

- いちばん好きな日本食の発表
- 学校生活について説明
- 世界遺産について意見交換

配当時数 各2時間

3年

- 日本文化の紹介
- これまでの活動報告
- ミニディベート















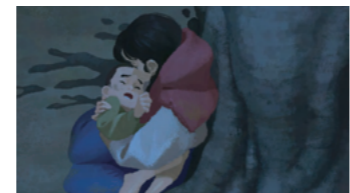






配当時数 各2時間

③ SDGsを自分事として考える題材を豊富に掲載

英語を学ぶとともに視野を広げ、地球市民として自分のできることを考え、実行できる生徒の育成をめざしました。

SDGsは、2015年に国連サミットで採択された17の目標です。2030年までに、今の世代の人も将来の世代の人も幸せに暮らしていける「持続可能な世界」の実現をめざします。解決していくべき問題を、生徒が「自分事」として捉えられる題材を取りそろえました。



<p>1年 Unit 8 Think Globally, Act Locally 世界のさまざまな問題</p>   	<p>2年 Unit 5 What design is good for everyone? ユニバーサルデザイン</p>   	<p>2年 Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet 写真家、星野さんが伝えた環境の大切さ</p>  
<p>3年 Unit 2 How do you choose your clothes? エシカルファッション</p>  	<p>3年 Unit 3 How can we save animals? 絶滅の危機にひんする動物たち</p>   	<p>3年 Let's Read 1 A Mother's Lullaby 広島に原爆が落とされた日の物語</p>  
<p>3年 Unit 6 What does it mean to be a global citizen? 相互依存と国際支援の取り組み</p>  	<p>3年 Let's Read 2 Power Your Future 世界のエネルギー資源の実態</p>  	<p>3年 Further Reading Malala Yousafzai: Education First 女子教育の重要性</p>  

題材紹介 日本の伝統・文化を見つめ直す

<p>1年 Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K. 日本の伝統芸能の分野で活躍する外国人</p> 	<p>1年 Unit 9 Winter Vacation 日本のお正月の過ごし方</p> 	<p>1年 Let's Read Gon, the Fox 日本の文学作品を英語で味わう</p> 
<p>2年 Unit 2 What is local food? ご当地グルメから考える食文化</p> 	<p>2年 Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? 世界遺産の価値や意義</p> 	<p>3年 Unit 1 What is special about Japanese pop culture? 日本のポップカルチャー</p> 

題材紹介 異文化や国際社会について考える

<p>1年 Unit 4 Friends in New Zealand 外国の中学生の学校生活</p> 	<p>2年 Unit 1 What can we experience on a trip? 海外旅行を通じた異文化理解</p> 	<p>2年 Unit 4 What is important in a homestay? ホームステイでの国際交流体験</p> 
---	--	--

題材紹介 今日的課題(道徳・防災・人権)に向き合う

<p>2年 Let's Read 2 A Glass of Milk 少年から女性への恩返し物語</p> 	<p>3年 Unit 4 How can we help each other in a disaster? 東日本大震災のドキュメンタリー</p> 	<p>3年 Unit 5 What makes a good leader? ガンディーの人権確立への取り組み</p> 
--	--	---

CLIL (Content and Language Integrated Learning) を充実

他教科で学んだことを英語の視点で学ぶコーナー、Learning ... in Englishでは、Unitで学習した内容を、さらに深めることができます。



もっと

生徒が学びたくなる工夫をご紹介します!

生徒の主体的な学びをバックアップし、生涯にわたり学び続けられるように、教科書(紙)とデジタル(QRコンテンツ)に、さまざまな教材を用意しました。

NEW HORIZONは、生徒の学びのダイバーシティを保障し、「自分に合った学び方で学ぶ」を実現します。

「主体的な学習」の強い味方 学び方コーナー

各学年とも、教科書の冒頭に「**学び方コーナー**」を設けて英語学習のコツをまとめています。

生涯にわたって**学び続けるための基盤**を作ります。

生徒が主体的に学習できるようにQRコードからは**解説動画**も見られます。



▲2年 pp.4-5

リアルな場面で使える英語力は Real Life English で

小単元「**Real Life English**」では、生徒が「伝えたい!」と思えるように、**実生活**に即した場面設定にしています。

「聞く」「やり取り」「書く」の各技能領域に**特化した活動**を行い、「**目的・場面・状況**」に合わせたコミュニケーション能力を伸ばします。

リスニングでは、身近な話題から社会的な話題まで段階的に取り上げます。

Listening Lion リスニングライオン



▲1年 p.69「コマーシャルの聞き取り」



▲1年 p.99「レストランでの注文」

動画つきでくり返し練習できる Small Talk

各学年とも、教科書の巻末に**帯活動用「Small Talk」**を新設しました。

Unitのトピックに関連した質問に、**即興で応答する練習**ができます。

QRコードからは**全学年分の質問の動画**が見られます。

リアリティを持った練習が可能



Small Talk 練習用動画



▲3年 pp.146-147

Speaking Swallows スピーキングスワローズ



質問に答えるだけでなく、対話を続けたり、場面に合わせて対話したりする力が身につきます。

自分に合った学び方が見つかる! QRコンテンツ

音声再生・日本語訳表示
本文・語句ビューア

本文と語句の音声再生機能を現行版教科書から大幅にパワーアップ! (※)日本語訳も表示することができます。個別最適な学びにぴったりのコンテンツです。

(※)新しく追加された機能
[音声再生] 選択再生/速度調整/カラオケ/リピートポーズ
[表示] マスク表示/スラッシュ表示/日本語訳表示
[その他] ペンツール/ロールプレイ



大好評の動画を生徒の端末で**動画コンテンツ**

動画は8段階で速さを調整でき、自分のペースでくり返し視聴できます。多くのリクエストにお応えして、全ての Key Sentences に解説動画を用意し、生徒用端末で視聴できるようにしました。

Key Sentences 解説動画
Preview / Enjoy Listening アニメ
Small Talk 練習用動画 ほか



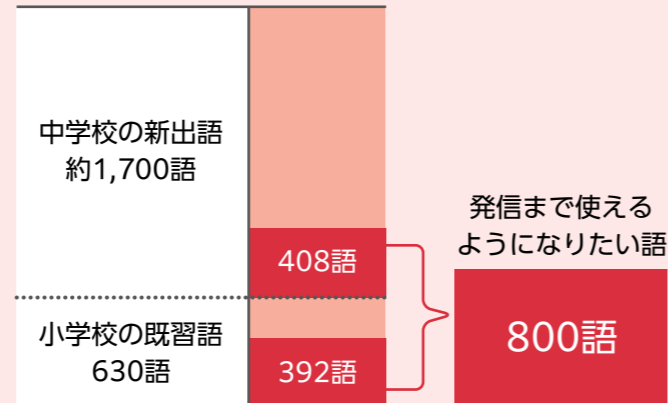
デジタルコンテンツについての詳細は、パンフレット「QR・デジタルコンテンツのご紹介」をご覧ください。



語彙選定の工夫

小中学校の教科書やCEFR-Jの語彙リストのA1レベルを中心に選定しています。小学校で学習したとみなされる語を**630語**と設定し、それに中学校の新出語約**1,700語**を加えた約**2,300語**を扱っています。

この約2,300語のうち小学校既習語から**392語**、中学校新出語から**408語**の合計**800語**を「発信まで使えるようになりたい語」と設定し、本文脇(側注)と巻末のWord Listに太字で示しています。この800語は、全ての生徒の**発信語彙**として、教科書内にくり返し提示して定着できるように工夫しています。



例えば、showは、1年のp.72が初出で、3年間で、10回以上教科書に登場します！



「思考力・判断力・表現力」の育成と評価

Unit ActivityやStage Activityに加え、Real Life Englishでは、教科書紙面に「目的・場面・状況」を提示しています。この「目的・場面・状況」をしっかりと意識してコミュニケーション活動を行うように指導することが、「思考力・判断力・表現力」育成のポイントです。

評価についても、「目的・場面・状況」をふまえて、相手意識を持って伝えようとしているか、が見取りのポイントです。

Unitでは、2-3年の扉ページにある「単元を貫く問い」(Unit Question)やRead and ThinkのRound 3の表現活動などで、「思考力・判断力・表現力」を育成できます。

教師用指導書に、「思考力・判断力・表現力」対応のワークシートをご用意します！



高校入試や全国学力調査への対応

昨今の高校入試および学力調査の出題傾向を大きくまとめると以下の3つです。

- ①「目的・場面・状況」をふまえて解答する必要がある
 - ②リーディングでは、さまざまな文章タイプが出題される
 - ③「概要」や「要旨」を捉える必要がある
- NEW HORIZONでは、①②③にしっかり対応。①は、全てのUnitとReal Life EnglishおよびStage Activityで設定を明示しています。②は、UnitのRead and Thinkでさまざまな文章タイプ(→本誌p.14)を扱っています。③は、Read and ThinkのラウンドリーディングのRound 1で、毎回概要を捉える練習ができます(→本誌p.15)。

文法配列の工夫

「基本事項をていねいに指導したい」という「声」を受け、1年の前半で**be動詞**や**一般動詞**、**he**や**she**を主語とする文および**疑問詞**について、ていねいに指導できるよう**配列を見直しました**。

2-3年については、Unitの前半のPart 1・2(短めの本文)に、より重要な文法事項を配置し、Unitの後半の長文パートであるRead and Think 1・2には**軽めの文法事項**を配置するようにし、生徒の学習負担に配慮しました。

隠れターゲット(未習なのに文法事項として取り上げない)が無いように配慮しています。



本文語数の工夫

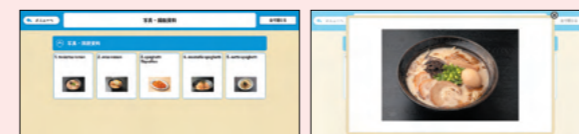
中学3年の卒業までに、まとまった量の英文を適切に読む力がつくように教材を配置しています。本文語数については、生徒の学習負担に配慮し、1年のUnit 1 Part 1の34 wordsから、ゆるやかに増加させ、3年の最後のUnit 6のRead and Think 1では、約300語の英文を扱っています。

また、「読む」ことに特化したLet's Read 3(3年 pp.96-100)では約550語の英文を読みます。その他、補充のリーディング素材として、Stage Activity Plus(2年 pp.42-43など)やFurther Reading(2-3年巻末資料編)を掲載しています。

	Unit (Read and Think)	Let's Read
1年	60～80語程度	240語程度
2年	80～120語程度	300～400語程度
3年	100～300語程度	400～500語程度

リテリング・リプロダクション用資料

「リテリング」や「オーラルイントロダクション」、「スローラーナーの本文理解の支援」に活用可能な、本文に関する写真や図版資料を充実させました。生徒用資料として、Unitの扉ページのQRコードから「写真・図版資料」にアクセスできるようにしました。



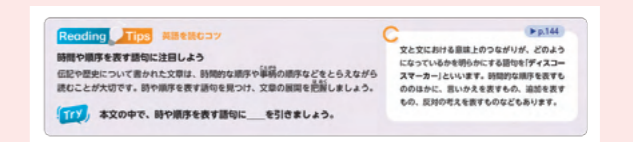
写真・図版資料

また、教師用指導書には、本文内容を紙芝居形式でまとめた「ストーリー・スライド」をご用意します。



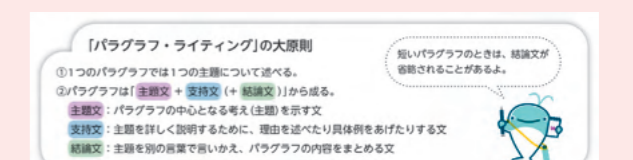
中高接続の工夫

3年の後半のUnit 4-6では、英文を効率的に読むコツ「Reading Tips」を取り上げ、高校へつながる読解力を養成します。



▲3年 p.55

3年の「学び方コーナー」では、まとまりのある文章を書く際に重要な「パラグラフの書き方」について、取り上げています。



▲3年 p.5

よりよい授業のために：その他の工夫

小中連携／書体／さまざまな支援／家庭学習

NEW HORIZON Elementary とのつながり

小学校用『NEW HORIZON Elementary』と『NEW HORIZON』は、円滑な小中接続を実現するために、さまざまな工夫をしています。

●語彙の扱いがいつしよで安心

「小学校の単語」630語（→本誌p.28）

は、『NEW HORIZON Elementary』から選びました。小学校で聞いたことのある単語を中心に、中学校の学習をスタートできるので安心です。

●テーマがいつしよで安心

「英語落語」（1年 Unit 6）、「世界の料理」（2年 Unit 2）、「絶滅危惧種」（3年 Unit 3）など、小学校で触れたテーマを中学校で扱うことで、生徒のより深い思考を促します。



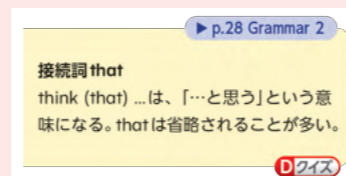
読みやすく、書きやすい書体の開発

文字習得に負担がないように開発した、より手書きに近いユニバーサルデザイン書体を、主に1年の全編で使用しています。4線は、文字の書きやすさに配慮して、第2線と第3線の間をやや広げました。

ユニバーサルデザイン書体 a tennis player
従来の書体 a tennis player

フォントデータを教師用指導書に収録予定。プリント作成などに活用可能！

さらに、日本語の文字と並べたときにも読みやすい書体を開発し、文法解説や英文の見出しなどに使用しています。



2年 p.25▶

さまざまな支援への対応

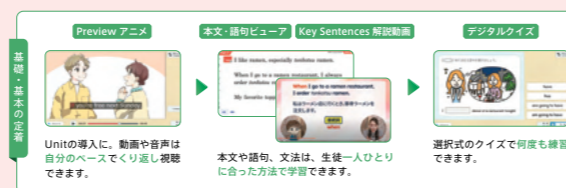
本改訂で大切にしている「誰一人取り残さない英語教育」を実現するために、「拡大教科書」を発行し、全ての生徒に教育の機会均等を保障します。また、学校の先生方からのご要望を受け、教師用指導書に英文にカタカナのルビが入ったプリントデータをご用意する予定です。

アイ ライク ラーメン イスベシャル トンコツ ラーメン
I like ramen, especially tonkotsu ramen.

外国につながる生徒への対応として、学習者用デジタル教科書では、ポップアップ画面でGoogle翻訳を利用しやすくなりました。その他、教科書の編集にあたっては、特別な支援を要する生徒や色覚特性のある生徒にとっても使いやすい紙面になるように、専門家の指導・校閲を受けました。

家庭学習への対応

充実のQRコンテンツは、さまざまな理由で登校して授業を受けられない生徒の学びにも有効です。



また、ウェブサイトでは、無料で使えるCBT問題や読み物、楽しく「音と文字」のルールを学べるゲームなども公開しています。



デジタル教科書・教師用指導書のご案内

学習者用デジタル教科書

学習者用デジタル教科書は、教科書の紙面をベースに、さまざまなデジタルコンテンツに簡単にアクセスできます。

動作環境：Windows / iPad / Chromebook 運用形態：クラウド配信

メリット1

全てのQRコンテンツを収録

- スピードや再生方法を変えながら、教科書本文や語句の音声を聞くことができます。
- 本文や語句の日本語訳表示やマスク表示ができます。
- 解説動画やアニメ動画を視聴できます。
- 各種のコンテンツや資料にアクセスできます。



メリット2

学習を支える便利な機能

- 書き込み・保存ができます。
- 参考資料（ウェブページ）へのリンクを自由に貼ることができます。



メリット3

さまざまな支援への対応

- 日本語本文をルビ付き、分かち書きで表示できます。
- 紙面の明るさや配色、書体などを変えることができます。
- ポップアップ画面でGoogle翻訳を利用しやすくなりました。外国につながる生徒の学びをサポートします。



教師用指導書 (Teacher's Manual)

① Teacher's Book (朱書編)	解答例、指示文の英訳、補充QA&TF問題、リスニングスクリプトなど。
② 指導・解説編	指導案、評価に関する資料、本文全訳、文法・語法解説、ALT用資料など。
③ ワークシート・テスト編	採点支援システム付き。確認用ワークシート、期末テスト例など。
④ GIGAスクール構想活用編	QRコンテンツの内容および活用例の紹介。
⑤ 指導者用デジタルブック	クラウド配信 (Lentrance版/HTML版)。
⑥ 指導書コンテンツライブラリー	本文テキスト、単語・連語一覧、4線つきフォント、ストーリー・スライドのデータなど。
⑦ 朱書編クラウド配信版	①のデジタル版。

指導者用デジタルブック

電子黒板を使用した指導に最適な提示型教材です。多様なコンテンツを収録しており、教科書上の写真や図版、アイコンなどをクリックするだけの簡単な操作で利用できます。小中接続コンテンツとして、チャンツも収録。さらに、各Unitの題材関連動画や単元末活動のサンプル動画も収録しています。

音声再生	フラッシュカード	ピクチャーカード
<ul style="list-style-type: none"> ●再生方法(連続/選択/役割)、再生速度可変 など ●カラオケ表示(音声に合わせてテキストがハイライト) など 	<ul style="list-style-type: none"> ●「小学校の単語」と「New Words」を収録 ●「発信語」(800語)の選択機能つき 	教科書のイラストや写真に加え、教科書にはない図版資料も収録。
動画	オリジナルカード作成機能	小中接続コンテンツ
<ul style="list-style-type: none"> ●題材関連動画 ●単元末活動サンプル動画 ●Key Sentences解説動画 ●カナダの中学生のドキュメンタリー動画 など 	オリジナルのカードの作成ができます。保存/読み込み、印刷にも対応。	<ul style="list-style-type: none"> ●口形図画 ●チャンツ ●アルファベットチャート ●アルファベットの書き順動画 ●やり取りのモデル動画 など

これらの商品は企画中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。

■ 著作関係者

代表

阿野 幸一	文教大学教授
アレン玉井 光江	青山学院大学教授



秋山 容洋	兵庫県姫路市立四郷学院後期課程主幹教諭
天野 圭吾	島根県奥出雲町立仁多中学校教諭
綾野 珠紀	岡山県岡山市立福南中学校教頭
飯塚 晃三	元兵庫県姫路市立琴陵中学校校長
五十嵐浩子	国士舘大学教授
池田 真	上智大学教授
和泉 伸一	上智大学教授
犬塚 章夫	愛知教育大学教授
上田外史彦	金沢学院大学准教授
海野 康太	宮城県大崎市立古川中学校教諭
大井 恭子	千葉大学名誉教授
大里 弘美	比治山大学准教授
太田かおり	西南女学院大学教授
大塚 恵理	京都府京都市立近衛中学校教諭
大友 麻子	東北学院大学准教授
緒方 広明	京都大学教授
笠原 究	北海道教育大学教授
笠原 一	神奈川県横浜市立港南中学校校長
梶田 哲也	京都府京都市立上京中学校教頭
柏 敬太	北海道教育大学附属札幌中学校教諭
加藤 真理	Focus Education Services代表
角家理恵子	長崎県長崎市立東長崎中学校教頭
上萩 琴美	徳島県石井町立藍畑小学校校長
上村 重昭	鹿児島県指宿市立北指宿中学校教諭
嘉山 透	神奈川県横須賀市立立上中学校教諭
河合 創	福井大学教育学部附属義務教育学校後期課程教諭
北野マブダ	文教大学准教授
國宗 芳彦	元香川県高松市立太田中学校校長
栗田由紀枝	福井県福井市明道中学校教諭
黒澤 敬	東京都世田谷区立弦巻中学校主任教諭
黒瀬 崇	山口県下関市立垢田中学校教諭
小泉 香織	早稲田大学高等学院教諭
河野 圭美	愛媛県松山市立久谷中学校教諭
河本 政浩	ノートルダム清心学園清心中学校・清心女子高等学校教諭
高本 裕迅	白百合女子大学名誉教授
後藤 博宣	神奈川県横須賀市立大矢部中学校教頭
小林 翔	大阪教育大学特任准教授
齋藤 英敏	茨城大学教授
齋藤 大行	横浜国立大学教育学部附属横浜中学校主幹教諭
佐々木雅人	元鳥取県立八頭高等学校非常勤講師
佐藤 剛	弘前大学准教授

佐藤 博晴	山形大学教授
實重 詔子	島根県安来市立伯太中学校校長
澤田 亜紀	福井県福井市成和中学校教諭
柴田 友美	山口県下関市立東部中学校教諭
白川 真也	宮城県東松島市立矢本第一中学校教諭
杉田 由仁	明治学院大学教授
杉本 義美	京都外国語大学教授
鈴木 渉	宮城教育大学教授
栖原 昂	筑波大学附属中学校教諭
壽原友理子	東京都立両国高等学校附属中学校主任教諭
曾我部裕司	徳島県小松島市立和田島小学校校長
園田 千佳	滋賀県草津市立草津中学校教諭
平 千絵	福島大学附属中学校教諭
田岡 綾	高知県高知市立横浜中学校指導教諭
高橋 俊章	山口大学教授
高橋 尚	宮城県富谷市立東向陽台中学校教諭
高山 大輔	福井県福井市明倫中学校教諭
高山 芳樹	東京学芸大学教授
建内 高昭	愛知教育大学教授
武田 弘文	岡山県倉敷市立多津美中学校指導教諭
竹村 依子	京都府京都市立藤森中学校教諭
巽 徹	岐阜大学教授
立松 大祐	愛媛大学教授
田中 佑美	滋賀大学准教授
玉水 透	大崎市教育委員会学校教育専門指導員
辻 大樹	立命館守山中学校高等学校教諭
坪田 裕希	東京都小平市立上水中学校主任教諭
天王寺谷圭司	鳴門教育大学附属中学校教諭
豊嶋 正貴	文教大学付属中学校・高等学校教諭
富田 彰憲	香川県高松市立協和中学校教諭
中垣 州代	畿央大学准教授
中島 義和	広島女学院大学准教授
長沼 真人	秋田県秋田市立将軍野中学校教諭
長嶺 寿宣	龍谷大学准教授
中村 隆秀	滋賀県東近江市立蒲生西小学校英語専科指導教員
中村 典生	長崎大学教授
奈良 恵子	前秋田県秋田市立秋田北中学校校長
縄田 裕幸	島根大学教授
根本 誉	東京都北区立神谷中学校副校長
橋本 真澄	佐賀県佐賀市立成章中学校教諭
濱田 陽	秋田大学准教授

林 裕子	佐賀大学准教授
廣瀬 萌恵	滋賀県草津市立老上中学校教諭
前川 卓哉	東京都国分寺市立第五中学校指導教諭
牧野 尚史	滋賀大学教育学部附属中学校教諭
真島 由朱	大阪府立桜塚高等学校教諭
松岡 敬明	元十文字学園女子大学教授
松倉紗野香	埼玉県立伊奈学園中学校教諭
宮崎 美穂	福島県いわき市立内郷第一中学校教諭
村尾 亮子	島根県出雲町立横田小学校教諭
村上 博喜	宮城県仙台市立岩切中学校教諭
村上 翠	福島県郡山市立郡山第二中学校教諭
村野井 仁	東北学院大学教授
安海 和枝	西南女学院大学非常勤講師
柳川 祥恵	群馬県総合教育センター指導主事
矢野 淳	静岡大学教授
山岡 学典	岡山県笠岡市立金浦中学校教諭
山口 健作	茨城県立土浦第一高等学校附属中学校教諭
山口 朋久	滋賀県湖南市立甲西北中学校教諭
山田 誠志	至学館大学教授
山野 有紀	白百合女子大学教授
山本 永年	市川中学校高等学校教諭
横澤 康子	東京都世田谷区立芦花中学校主任教諭
吉澤 孝幸	秋田県立秋田南高等学校中等部教諭
和家 加奈	愛媛県松山市立東中学校教諭
Mark Fennelly	四国大学教授
Brian Peck	昭和女子大学講師
東京書籍株式会社	(ほか4名)
ICTの活用に関する校閲	
稲垣 忠	東北学院大学教授
小柳和喜雄	関西大学教授
小嶋 誠二	奈良教育大学客員准教授
柴田 隆史	東海大学教授
泰山 裕	鳴門教育大学大学院准教授
寺澤 孝文	岡山大学教授
特別支援教育に関する編集協力	
村上 加代子	武庫川女子大学准教授
色彩デザインに関する編集協力	
色覚問題研究グループばすてる	



[本社] 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7416(英語編集部) Fax: 03-5390-7300
 [支社・出張所] 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260
 大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084
 [ホームページ] <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> [教育情報サイト 東書Eネット] <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>